

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.113号> 2020年 8月1日 発行

ごあいさつ

朱赤の風船のような花がくを 枝一杯に垂らしたほおづきが、並ぶ頃になりました。

今年の梅雨は最も長く、各地に豪雨と様々な被害をもたらしました。被災者の皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

さて コロナウィルスの脅威は、第二波突入への様相を呈し、用心深く再開を試み

た経済活動や痛手の大きい医療体制の足枷せと なっています。世界中がその対策への方法と秩序を模索する中、二大国の自国第一主義が更に高まり、コロナ禍どころか人類の存続すら危ぶまれるような事態に陥りかねません。このような危機的な状況においてこそ、全世界が惜しめない協力体制をもってパンデミックの撲滅に立ち向かう事を切望します。

マスク着用や消毒液使用等、個人レベルの対応は既に浸透しており、あとは待たれるワクチン開発が進み、経済力の乏しい発展途上国の末端まで行き渡るよう、国連や世界保健機関が実効力を果たすまで世界各国が後押しし、見届けられることを祈ります。

本市もコロナ感染者数は7月に急増、現状の課題を再確認し、9月議会に向け力を尽くして参ります。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel 0566-36-3870

Fax 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp

HPアドレス <http://y1110.jimdo.com>



歳時記

8月 7日 (金) 立秋

10日 (月・祝) 山の日

15日 (土) お盆・終戦記念日

23日 (日) 処暑

地蔵盆 (→24日)

31日 (月) 二百十日

酷暑に怯まず、街中にはマスク姿の人々が行き交います。蝉時雨が朝から追い打ちをかける毎日ですが「立秋」の響きに峠を越す安堵感を与えられます。夏期連休の期待感に少し翳りをもたらすこの夏、想像力が試されています。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



子ども達が大好きな 市民の憩いの場の一番奥には、大輪の紫陽花の小径が続きます。先程までの喧騒が嘘のような静けさに…？さて、ここはどこでしょう？



7/1発行の<No.112>の答えは、井ヶ谷町の茶屋川に設えられたピオトープ。二本の小川の手前は農業用水路、奥は蛍やメダカの棲みかです。小さな幽玄の世界に魅了されます。

“人権”への招待☆

今年もまた 終戦記念日がやって来ます。1945年の終戦から75年、一世紀の4分の3という時が流れ、実体験した人々の生存率は、刻々と減少しています。

過酷を極めた沖縄戦や原爆被害の語り部に、話を伺う機会も稀少となりました。

20世紀、世界中を疲弊させた二度の世界大戦の終戦から3年余り、人権の保障が“平和の基礎”という考え方が主流となり、パリ開催の国連第3回総会において、世界中の全ての人が持つ、市民的・政治的・経済的・社会的・文化的分野に亘る多くの権利を内容として、世界人権宣言が採択されました。基本的人権の尊重をうたった宣言に法的拘束力はありませんが、世界各国に強い影響を及ぼしています。

古くは紀元前539年、古代ペルシア・キュロス大王がバビロンを占領後、驚くことに奴隷全員を解放・故郷に帰し、信仰する宗教を自分で選んで良い、と宣言。彼の考え方は、ギリシアやインド、やがてローマにまで伝わり発展し続けました。

自然災害やコロナ禍に脅かされながらも、今 日本国民は平和を享受しています。戦争や抑圧の脅威在るところに、真の人類の自由または尊厳は存在しないことを真摯に受け止め、この終戦記念日の意味を身近な人々と語り合うことも大切です。

8月の行事予定

8月 3日 (月) 永井県議グループ定例会

5日 (水) 臨時議会

18日 (火) 9月定例議会説明会

24日 (月) トヨタ車体労組議員懇談会

“まじめにコツコツ、
即行動”
頑張ります!!



7月のフットワーク

2021年度 当初予算編成に関する市民クラブ会派の要望書を提出

住みたい、住み続けたいまちに！！
人口増加に繋がる施策への予算化要望書を市長に提出
(今回は、コロナ対策も加え 計116件を要望)



分野別要望件数	重点要望	その他個別要望	前年度からのフォローアップ	計
都市環境分野	9	4	22	35
教育文化分野	5	4	4	13
産業振興分野	10	—	1	11
福祉安全分野	12	6	12	30
計画推進分野	—	1	5	6
計	36	15	44	95



新型コロナウイルス感染症への対策予算化要望	件数
市民・事業者に対する追加支援の施策	6
コロナ感染拡大の第2波・第3波を見据えた施策	11
新しい生活様式に向けた施策	4
計	21

ユタクラブ議員協議会 研修会報告

〔開催日〕 7月23日(木)全トヨタ労連「つどいの丘」
〔講師〕 中部経済連合会 常務理事 栗原 大介氏
〔テーマ〕 中経連が考える地方自治体の防災への取り組み
〈中部圏経済の背景と南海トラフ地震発生の影響〉



- 中部圏は、全国の製品出荷額の1/4を占める地域。
- 中部圏の経済活動が長期に停止した場合、影響は計り知れない。
- 今後30年間で70～80%の発生が想定されており対策は喫緊の課題。
- 土木学会の試算では、20年間の長期損害額は1,410兆円を想定。



社会インフラ整備により、長期被害4～6割低減可能(土木学会)
具体的かつ着実な整備が急務

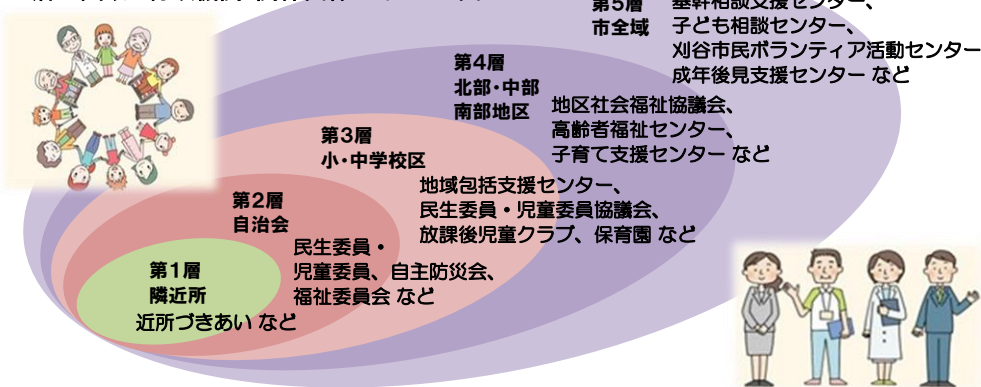
「第4次 刈谷市地域福祉計画」の取り組みを紹介します。

地域福祉とは、市・社会福祉協議会・福祉関係事業者・各種団体・地域住民などが、地域における多様な生活課題の解決を目指し活動する取り組みです。

計画期間(年度)	2010	・・・	2014	2015	・・・	2019	2020	・・・	2024
地域福祉計画(市行政)	第2次			第3次(一体的に策定)			第4次(一体的に策定)		
地域福祉活動計画(社会福祉協議会)	第3次			第3次(一体的に策定)			第4次(一体的に策定)		

地域福祉における

5層の圏域と行政機関・関係団体のイメージ図



基本理念	共に喜らせるまち 参加と支え合いで築く			
基本目標	施策の方向	指標項目	現状値(2018年)	目標値(2023年)
① 地域福祉の意識づくり 担い手づくり	① 地域福祉活動の担い手の発掘・育成	地域福祉が進んだと感じる割合	16.9%	21.0%
	② 福祉教育の充実	福祉を学んだことがある人の割合	78.2%	83.0%
	③ ボランティアの育成・支援	ボランティア活動への参加割合(一般)	10.5%	15.0%
	④ 広報・啓発活動の充実	ボランティア活動への参加割合(若年)	19.1%	24.0%
② 支え合いの仕組みづくり	① 地域福祉活動の支援	地域のつながりが強いと感じる割合	25.6%	30.0%
	② 見守り活動の推進	民生委員・児童委員の認知度	10.2%	15.0%
	③ 集いの場の充実	社会福祉協議会の認知度	15.4%	20.0%
	④ 連携と協働の推進			
③ 安心・安全な福祉のまちづくり	① 相談体制の充実	刈谷市の福祉水準が高いと感じる割合	20.9%	25.0%
	② 公的な福祉サービスの充実			
	③ 誰もが住みやすい環境づくりの推進	地域包括支援センターの認知度	16.5%	21.0%
	④ 権利擁護の推進	避難行動要支援者の認知度	15.4%	20.0%
	⑤ 地域防災・防犯活動の推進	自主防災組織の認知度	27.1%	32.0%